

## 松島地区コミュニティ協議会 子ども安全パトロール隊（香川県）

### 活動地域と団体の概要

松島地区コミュニティ協議会子ども安全パトロール隊の取組みについて説明させていただきたいと思います。まず、私たちの暮らす松島町は、高松市の中心から北東に約2キロメートル離れた地域にあります。人口が8,590人余り、4,500世帯です。旧松島小学校という小学校を中心にした地域ですが、現在は三つの小学校と二つの中学校が統合して新しく高松第一学園という学校ができています。

この学校を中心に、子ども安全パトロール隊は平成17年に結成されました。その経緯ですが、まず小学校の学校長から集団登下校のお願いという通知が出ました。17年当時、全国で下校中の子供が襲われるような事件が相次いで起こったことから、学校長がまず子供たちの安全はその保護者で守っていきましようと呼びかけ、一歩出迎え隊なるものを結成しました。保護者が、子供の下校時間に合わせて玄関前まで子供を迎えに出る活動です。そうしたなか、自分たちの子供を守った余力を地域の子供を守る活動に向ける動きが現れました。私たちの地元の松島地区でも、子ども安全パトロール隊を結成してはどうかという意見が役員会に上程されまして、翌年の4月、子ども安全パトロール隊が結成されました。

当初は小学校の教職員、保護者PTAの代表、地元の警察署、交番、刑務所など各種団体の方々にお集まりいただいて、安全パトロール隊が結成されました。地域住民、各種団体、自治会などの相互の協力によって、地域及び子供を守るための活動を自主的、そして積極的に展開することで、安全で安心できる地域をつくり、子供たちの健全育成を図ることが目的です。先ほども申し上げました通り、活動の主体は子供の親です。朝夕の登下校時に地域でお年寄りが子供たちのために活動して、親が家でテレビを見ているというような状況は、やはりありえないだろうという考えからです。いま現在、下校時と登校時2回



松島地区コミュニティ協議会  
子ども安全パトロール隊の取組み  
安全で安心な地域づくりを目指して・・・

子ども安全パトロール隊の結成までの流れ

- 平成17年12月 8日 松島小学校校長より「集団登下校のお願い」文章の配布
- 平成18年 2月23日 松島小学校校長より「児童の安全確保について」文章の配布
- 平成18年 3月14日 まつしま子ども安全パトロール隊（仮称）結成について役員会にて承認
- 平成18年 4月21日 子ども安全パトロール隊 出陣式  
参加者 松島小学校 児童・教職員  
保護者・PTA代表  
高松北警察署 生活安全課課長  
松島交番所長  
高松刑務所 所長

松島地区コミュニティ協議会 環境安全部会

松島地区コミュニティ協議会  
子ども安全パトロール隊の取組み  
安全で安心な地域づくりを目指して・・・

【名称】  
松島地区 子ども安全パトロール隊

【目的】  
地域住民、各種団体、自治会などの相互の協力により、地域及び子供を守るための活動を自主的、積極的に展開することにより、安全で安心できる地域と子ども達の健全なる育成を目的とする。

【主体及び構成】  
主体は、子どもの親が行う。  
援助は、以下の団体で行う。  
子ども会育成連絡協議会・青少年健全育成協議会・交通安全母の会・  
松島小学校PTA・老人クラブ連合会・地域安全推進委員協議会・  
民生委員児童委員協議会・連合自治会

松島地区コミュニティ協議会 環境安全部会

に分けてパトロールをしています。子供が見て分かるように必ずユニフォームを着用しています。地域安全安心ステーション整備モデル事業として取り組んだ平成 19 年からは、警察本部より制帽を貸与していただき、その後、自前の制服をそろえました。

会員数ですが、当初は私どもの連合自治会の中の 18 自治会で 446 人、老人クラブの皆さん 154 人、あと保護者で始めました。その後、松島小学校は統合されて閉校になりましたが、それでも現在、18 自治会 228 人、老人クラブ連合会 184 人で活動しています。

## 活動の概要



私たちの子ども見守り隊の活動は、登校時は親が中心となって立哨当番にあたります。道路の要所要所に立って、旗を持って見守ります。また、下校時は老人クラブ連合会の皆さんが中心となり 180 人を超す方々が子供の下校時間に合わせて交差点などに立って活動していただいています。

私共は 1 カ月単位の下校時間のプリントを学校から配布していただいております。同時に、本年度から突然の変更などの場合には学校の一斉送信メールを使って、会員 220 数人に瞬時に連絡がいくというシステムも使っています。

老人クラブ連合会の皆さんは、一人一人が子供たちに対して「おかえり」と声を掛け、子供たちも「ただいま」という声を返しています。そういう地域とのコミュニケーションの中で活動は続けられています。



また、交通安全キャンペーンの際には、多い時は 80 人くらいの方が、朝の 7 時半から 8 時半まで、月に 1 回程度立哨をしています。これにはワンちゃんの見守り隊も特別参加しています。さらに平成 23 年 4 月には、香川県の子どもと女性を守る事業によって、松島地区内の 9 カ所の公園等に防犯カメラが設置されました。この 9 カ所では、現在 33 人の方が防犯カメラの「駆けつけ隊」の活動をしています。防犯カメラの近くに通報ブザーがあり、

このブザーを押すとフラッシュライトとサイレンが鳴ります。それを聞きつけた場合に駆けつけ隊が現場を確認して、異状がある場合は警察に連絡をするという取り組みです。

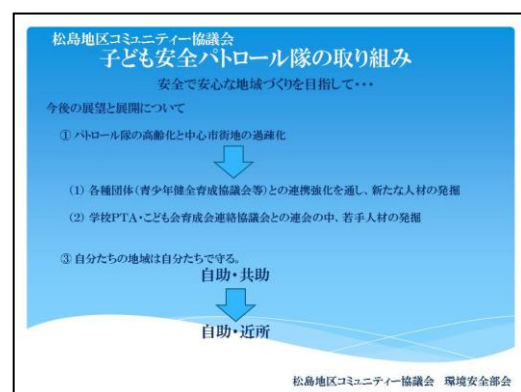
また、全国各地で導入団体が増えています。私たちも青色パトカーを地域に配置しております。これは平成23年の出発式の様子ですが、現在5台の青色パトロール隊、パトロール部隊で、25人の隊員で活動しています。私たちの青色パトロール活動の特徴の一つとして、1学期、2学期、3学期と学校は3学期制ですが、各学期の初めにパトカーを通学路に停止させ、現地任務で一方通行又は通学路等に入ってくる車両に対して注意を促すという活動をしています。路上に止めると駐車違反になるというご指摘をいただきまして、必ず私有地に止めて活動をしています。



## 今後の課題

今後の展望と展開についてですが、パトロール隊員の高齢化と中心市街地の過疎化という問題がありまして、各種団体、特に青少年健全育成協議会など地域の各種団体と連携を強化しながら、新たな人材を発掘していこうと考えております。

また、子ども会、PTAには、若いお父さんお母さんがたくさんいますので、この人たちもこのパトロール隊に採り入れて一緒に活動をしていこうと考えています。自分たちの地域は自分たちで守る。自助、共助という言葉をよく耳にします。私たちはこの自助、共助を重視し、自分自身の活動、近所という地域のコミュニティに根ざした活動を今後もしていきたいと思っています。どうもご清聴ありがとうございました、以上で終わります。



## 質疑応答

---

●質問 防犯カメラについては、行政が取り付けしているのか、皆さんの活動隊から要請されて付けたものなののでしょうか？ また、これはどこで管理されていますか？

○回答 防犯カメラは、香川県警察本部の女性と子どもを守る推進事業によるもので、警察が中心となって設置しています。このボタンは、押せば警察に連絡がいくのではなく、何かあってパトライトが回ったり音が聞こえた時は住民で結成する駆けつけ隊のメンバーが現地に行ってどういう状況であるか確認し、速やかに警察やコミュニティに連絡するというような態勢で運用しています。

●質問 データは警察本部のほうにあるということですか？ 管理本体はいかがですか？

○回答 機器それぞれのハードディスクに記録しているのですが、警察が自由に記録された個人情報を利用できるものではなくて、地域の代表の方が鍵の管理をしていますし、記録の確認作業などは、警察と地域代表が立ち会いの下で当たるというルールを決めています。